

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	スポーツの推進	施策No	10-04	部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課		
				課長名	泉谷 内線 3370		
関連部課名							
行政評価	分野	文化創造都市					
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
目的	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の区民がスポーツを楽しめる環境を整えるとともに、指導者やアスリートの育成等によりスポーツのレベルアップを図り、区におけるスポーツ活動を推進します。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	運動の実施	3.25	3.28	3.15	体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？		
	健康の実感	3.31	3.36	3.29	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	スポーツ実施率（％）			38.80	40.00	50	週1回以上、運動やスポーツ活動を行っている人の割合
	スポーツひろば参加者数（人）	17,489	19,910	20,232	20,500	21,000	スポーツひろば参加者（延べ人数）
	スポーツボランティア数（人）	396	380	424	430	550	スポーツボランティアとして区に参加の人数（登録制度はH30～）
	障がい者スポーツサポーターの登録数（人）			35	50	220	障がい者スポーツサポーターとして登録・活動している人数
初級障害者スポーツ指導員資格の取得人数（人）				12	120	区主催の講座を受講し指導員資格を取得した人数	

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	行政費用	給与関係費		82,095		行政収入	地方税等		0
		物件費		375,580			国庫支出金		0
		維持補修費		5,985			都支出金		4,830
		扶助費		0			分担金及び負担金		0
		補助費等		15,083			使用料及び手数料		65,219
		減価償却費		205,782			その他		55,696
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0			行政収入合計(a)		125,745
		賞与・退職給与引当金繰入額		3,936			行政収支差額(a)-(b)=(c)		562,717
		その他行政費用		0			金融収支差額(d)		0
		行政費用合計(b)		688,462			通常収支差額(c)+(d)=(e)		562,717
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		562,717			
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	流動資産	収入未済		0		流動負債			3,936
		不納欠損引当金		0			還付未済金		0
		その他の流動資産		0			特別区債		0
	固定資産	有形固定資産		7,048,536		賞与引当金		3,936	
		土地		4,832,137		その他の流動負債		0	
		建物		6,270,177		固定負債		38,778	
		建物減価償却累計額		4,484,225			特別区債		0
		工作物等		1,123,224		退職給与引当金		38,778	
		工作物等減価償却累計額		692,778		その他の固定負債		0	
		無形固定資産		0		負債の部合計		42,714	
建設仮勘定		10,000		正味財産		7,015,822			
その他の固定資産		0		正味財産の部合計		7,015,822			
資産の部合計		7,058,536		負債及び正味財産の部合計		7,058,536			

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>平成27年度に実施したアンケートでは、運動不足を感じている区民は8割を超え、週1回以上運動やスポーツを行っている割合は4割弱に留まり、障がい者スポーツに関心のある区民の割合は4割弱となっている。</p> <p>子どもたちの運動能力は23区の平均を下回り運動をする子どもとしない子どもの二極化が進んでいる。壮年期から中年期にかけては子育てや仕事に追われスポーツをする機会が減少している。</p> <p>区では、スポーツ推進委員や一般社団法人荒川区体育協会と連携し、ニュースポーツを始め様々なスポーツイベントを実施するほか、スポーツの技術力向上のため、実績ある指導者によるアドバイザー制度や、トップアスリートと子どもたちが直接触れ合う事業も実施している。</p> <p>空地の少ない荒川区では、河川敷を野球場やサッカー場等に整備して活用するほか、尾久八幡中学校グラウンドと区民運動場の相互利用を行うなど工夫しながらスポーツ環境の整備を行っている。さらに、小中学校の体育館は、授業で使われない夜間帯を活用して「スポーツひろば」を実施している。土日における区営スポーツ施設の予約状況は、ほぼ100%となっており、多くの区民に利用されている。</p> <p>行政コストとしては物件費が多く掛かっているが、その内容としては、屋内施設における指定</p>
課題	<p>アンケートでは、週1回以上の運動をしていない理由として「仕事や介護、育児等で忙しい」、「体力に自信がない」、「経済的理由」のほか、「特に理由はない」との回答も多いことから、区民がスポーツを楽しむきっかけづくりや、身近な場所で気軽にスポーツができる環境づくりが不可欠である。</p> <p>子どもたちがスポーツの楽しさや感動を知る大きな動機付けとして、トップアスリートと直接触れ合う機会を増やすことも重要である。</p> <p>障がい者スポーツに関するアンケートでは、「パラリンピック」は9割近い区民が知っている一方、「デフリンピック」や「スペシャルオリンピックス」は7割以上が知らないと回答しており、障がい者スポーツをより多くの区民に知ってもらう取組を進める必要がある。</p> <p>各種競技の技術力の向上や、オリンピックを始めとするアスリートの育成には、指導者やスポーツボランティアなどスポーツを支える人材の育成が肝要であるとともに、区営スポーツ施設の予約状況を踏まえ、更なるスポーツ環境の整備を進める必要がある。</p> <p>区民が身近な場所でスポーツに親しむためには、老朽化した施設の改修をはじめ、民間のスポーツ施設等との連携を強化する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>スポーツの裾野を広げ、スポーツを楽しむ区民を増やすため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を好機と捉え、区内スポーツ関連機関や団体等との協働によりライフステージに応じたスポーツ活動を支援し、生涯にわたるスポーツ活動の充実を図っていく。</p> <p>障がい者スポーツフェスティバルの開催をはじめ、車いすバスケットボールやボッチャ等の体験など、障がい者スポーツを多くの区民に知ってもらう機会を増やすとともに、障がい者スポーツを支える人材の育成を進め、障がい者スポーツの推進を図る。</p> <p>元スポーツ選手やアスリートによる直接指導など、運動能力の開発や技術力の向上を促進する取組と併せ、指導員やボランティアの育成、競技大会へ出場する選手等を支援する仕組みなどを充実し、区におけるスポーツのレベルアップを目指していく。</p> <p>老朽化した荒川総合スポーツセンターの大規模改修はもとより、新たな体育館の整備を含め、多目的広場や運動場等の拡張・整備を進めるほか、民間のスポーツ施設等との連携・協力により、区民のスポーツ環境の更なる充実を図る。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>スポーツは世界共通の人類の文化であり、心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものである。子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、区民の生涯スポーツの推進を図る当施策の優先度は高い。</p>

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
スポーツ推進委員活動	05-03-01	5,855	7,002	重点的に推進	重点的に推進	区が主催するスポーツ事業において、スポーツ推進委員の協力が不可欠であり、区のスポーツ振興を進める上で重要な役割を担っており、必要な事業である。
スポーツひろば	05-03-02	2,173	2,274	推進	推進	区民が身近で気軽に参加でき、そして主体的に取り組むスポーツ活動の場として、今後も拡充すべき事業である。
ラジオ体操振興事業	05-03-03	161	163	継続	継続	老若男女を問わず体を動かすことを気軽に楽しみ、区民の健康保持を図る事業であり、継続して実施する。
スキー教室	05-03-04	432	386	継続	継続	スキーを通して自然と接し、ウインタースポーツを促進する事業であり、継続して実施する。
区民ハイキング	05-03-05	590	590	継続	継続	老若男女を問わず、区民が自然の中で体を使い気軽に楽しめるレクリエーション活動であり継続して実施する。
都民体育大会等選手団派遣	05-03-06	890	882	継続	継続	区民の競技意識及び区民の競技レベル向上とスポーツの活性化を図るため、維持すべき事業である。
体育協会補助	05-03-07	5,700	4,500	推進	推進	加盟団体の育成・強化及び生涯スポーツ振興など幅広く活動し、区内スポーツ活動で重要な役割を担っており、区として活動を支援する。
生涯スポーツ振興事業	05-03-08	1,000	867	推進	推進	区民が身近にスポーツに取り組めるよう生涯スポーツを促進する。スポーツ実施率の向上にもつながる事業である。
親子で体力アップ推進事業	05-03-09	1,000	0	推進	推進	子どもの体力低下は、将来的に区民全体の体力・活力低下につながる。合わせて親世代の運動不足解消、生活習慣病対策として、親子で楽しく参加して運動のきっかけをつくる本事業は必要性が高い。
総合型地域スポーツクラブ設立支援	05-03-10	300	300	推進	推進	スポーツをする機会の充実、世代間交流、地域のコミュニティの活性化等につながるクラブの設立を支援する。22年度に1箇所目が設立されたので今後は複数設立を目指す。
コミュニティスポーツの普及	05-03-11	607	561	推進	推進	競技スポーツになじまない区民にも気軽にスポーツを楽しむ機会を提供し、生涯スポーツの振興を図るため、普及活動方法も検討しながら充実させていく必要がある。

荒川リバーサイドマラソン	05-03-12	2,582	2,582	重点的に推進	重点的に推進	区の主要なスポーツイベントである。規模が大きくなっていることから、実施方法等も検討し充実させていく必要がある。
体育の日記念行事	05-03-13	1,030	1,015	継続	継続	スポーツ活動への動機づけとなる重要な事業であり、今後も継続して実施する。
その他振興費（スポーツ大賞等）	05-03-14	3,018	1,353	継続	継続	区民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ活動を奨励し、地域のスポーツ振興に資することから継続する。
城北五区親善大会	05-03-15	372	234	継続	継続	競技力の向上、青少年の健全育成、スポーツ振興にもつなげる近隣区との競技の交流を継続して支援する。
東京都釣魚大会派遣	05-03-16	80	80	継続	継続	競技意欲の向上が図られることから継続すべきである。
友好都市スポーツ交流事業	05-03-17	287	265	継続	継続	友好都市のつくば市と少年野球やサッカーの親善試合を行うことにより、相互の競技力の向上及び親睦を深めることに寄与している。意義深い事業であり、継続して実施する。
スポーツ活動支援	05-03-18	0	0	推進	推進	地域の代表として全国大会等のスポーツ大会に参加する際の支援を実施する。
区民体育大会	05-03-19	6,915	8,162	推進	推進	区民のスポーツ振興を図り、競技意識、競技レベルの向上を目指すため、極めて重要な区内のスポーツ事業である。
区営運動場管理費	05-03-20	78,852	83,076	推進	推進	身近なスポーツ施設として、区民の健康増進及びスポーツ振興を図る上でも必要な施設である。
荒川総合スポーツセンター管理運営費・営繕費	05-03-21	178,337	115,633	重点的に推進	重点的に推進	競技大会開催など区内のスポーツ活動の中心となり、健康維持・体力増強等にも活用される屋内スポーツ施設を管理運営する。
荒川遊園スポーツハウス管理運営費・営繕費	05-03-22	139,755	137,043	継続	継続	区民の健康維持・体力増強等に活用される屋内スポーツ施設を管理運営する。
荒川遊園スポーツハウス各種教室の開催	05-03-23	41,428	42,998	継続	継続	区民の健康維持・体力増強等のため、各種スポーツや体力アップ等の教室を開催する。

オリンピック・パラリンピック気運醸成事業	05-03-24	8,253	7,858	重点的に推進	重点的に推進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、東京都や関係団体等と連携を図り、気運を醸成するための事業を積極的に実施していく。
合 計		479,617	417,824			